1. 計画の全体構成について

1.1 都市交通マスタープランの目標の追加について

● 都市交通マスタープランでは3つの目標を掲げていたが、基本方針に掲げる交通づくりをより一層明確にするため、基本方針2に対する目標を1つ追加する。(詳細は資料3で説明)

追加する目標:まちなかの賑わいを創出する交通環境を実現する

1.2 実施プログラム作成までの流れ

H27.10.1 時点

- 交通戦略では、都市交通マスタープランで掲げる目標を達成するために、重点的に取り組むべき方向性を4つの戦略として設定し、その戦略を展開する上で必要な取組みと事業を抽出する。
- 抽出した事業のうち、今後のまちづくり施策と連携して実施することにより相乗効果が高まる事業についてはパッケージ化し、パッケージ化しない個別推進事業とともに実施プログラムを作成する。(詳細は資料4で説明)

豊橋市総合交通計画(仮称) 都市交通マスタープラン(基本計画) 交通戦略(実施計画) 戦略 実施プログラム 取組み 事業(例示) 基本方針 目 標 取組み 1-1:とよはし型BRTの 目標1 パッケージ事業1 戦略1 サービス水準の向上 整備 人にやさしく移動しやすい交通環境を実現する 取組み 1-2:路面電車・渥美線の 公共交通優先システムの導入 公共交通幹線軸 基本方針1 【評価指標1-1】 機能の維持・強化 サービス水準の向上 の強化 ・自転車・公共交通の利用のしやすさにおいて 安全・安心で快適に 取組み 1-3:公共交通の利便性向上 利用しやすい運賃体系の導入 利用しやすい運賃体系の導入 満足と感じる人の割合 移動できる交通づくり 駐輪場の利便性・快適性向上 【評価指標1-2】 駅前大通2丁目地区再開発 取組み 2-1:交通結節点への ・歩行者・自転車が関わる交通事故件数 公共交通に対する意識変革 戦略2 コミュニティバスの運行 アクセス性の向上 取組み 2-2:乗換機能の強化 地域拠点等における 赤岩口電停乗換施設整備 目標2-1 交通結節機能の強化 取組み 2-3:交通結節点周辺の まちづくり施策と連携した公共交通ネットワーク 道の駅整備との連携 パッケージ事業2 まちづくりとの連携 を形成する 【評価指標2-1】 取組み 3-1:路面電車の魅力向上 グレードの高い電停整備 戦略3 ・1日当たりの公共交通の利用者数 公共交通優先システムの導入 基本方針2 取組み 3-2:回遊性・アクセス性の 赤岩口電停乗換施設整備 まちなか交通 駐輪場の利便性・快適性向上 まちの魅力・活力を 向上 グレードの高い電停整備 の魅力向上 取組み 3-3: まちなかのまちづくり 高める交通づくり 目標2-2 路面電車に対する意識変革 駅前大通2丁目地区再開発 との連携 まちなかの賑わいを創出する交通環境を実現する (追加) 取組み 4-1:交通手段のかしこい使い分け 公共交通に対する意識変革 【評価指標2-2】 を実践するための意識変革 個別推進事業 ・中心市街地内の休日歩行者通行量 取組み 4-2:安全で円滑な交通を 交差点改良の推進 戦略4 支える道路の整備 コミュニティバスの運行 取組み 4-3: 自転車活用の推進 道の駅整備との連携 自転車ネットワークの整備 目標3 自転車や公共交通を 交差点改良の推進 環境負荷軽減、健康増進に寄与する交通行動の実 中心としたライフ 基本方針3 取組み 4-4: エコ通勤の推進 自転車通勤の推進 自転車ネットワークの整備 践を促す スタイルへの転換 自転車通勤の推進 環境・健康を意識した 取組み 4-5:健康なまちづくりの 健康マイレージ事業 健康マイレージ事業 【評価指標3】 推進 交通づくり 次世代自動車の導入支援 ・市街化区域内の歩行者・自転車の利用割合 取組み 4-6:環境対策の推進 次世代自動車の導入支援